

ハートフォードの NEWアダージオai

ハートフォード生命保険株式会社の
変額個人年金保険Ⅱ型2003
＜自由選択コース＞

特別勘定の月次運用レポート 2012年4月末現在

- 市場概況
- 特別勘定の運用状況
- 組入投資信託の運用レポート



変額個人年金保険のリスクと手数料について

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

- 受取総額が一時払保険料相当額を下回ること(元本割れリスク)があります。
 - 保険関係費用:ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.10%の割合で資産残高から毎日控除されます。
 - 運用関係費用:ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.187%(税抜1.13%)程度の割合で信託財産から毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。
 - 年金管理費:年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
 - 解約控除:ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の解約、一部解約(特別引出を除く)をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7%~1%の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。
- ※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

*この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用(「保険関係費用」「運用関係費用)」と「年金受取期間中の費用(「年金管理費)」」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約控除」がかかります。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

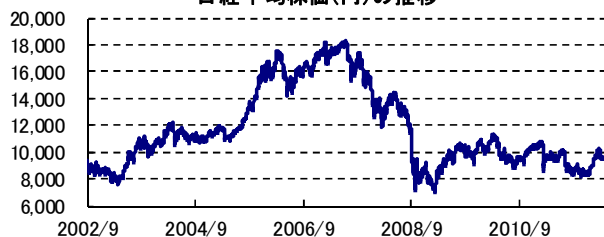
[引受保険会社] ハートフォード生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

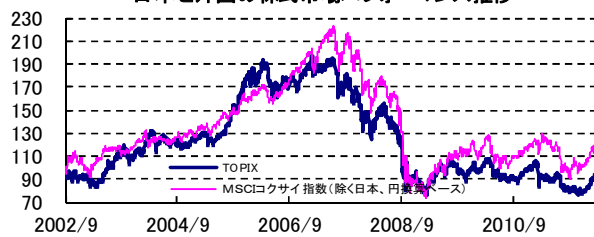
市場概況

代表的な指標の騰落率		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	▲ 5.58%	8.16%	5.92%	▲ 3.34%	7.85%
	TOPIX(東証株価指数)	▲ 5.86%	6.49%	5.26%	▲ 5.59%	▲ 4.00%
日本債券	NOMURA-BPI	0.52%	0.69%	1.49%	3.07%	7.64%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	▲ 1.80%	11.29%	8.23%	▲ 6.98%	24.00%
外国債券	シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	▲ 1.27%	6.95%	7.09%	1.16%	▲ 2.68%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	▲ 1.22%	6.30%	4.42%	▲ 1.08%	▲ 16.97%

日経平均株価(円)の推移

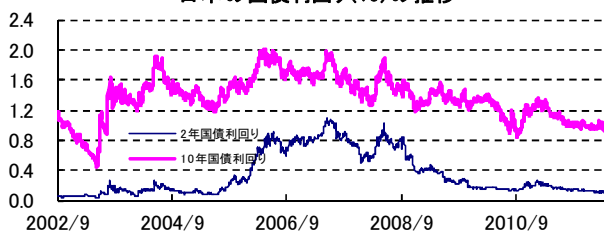


日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

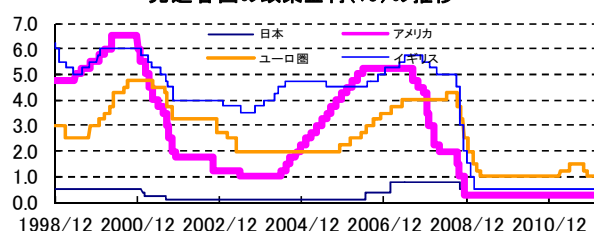


* 上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

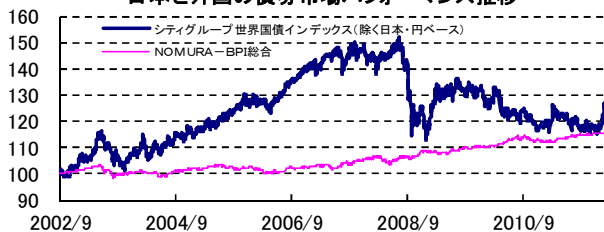
日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移

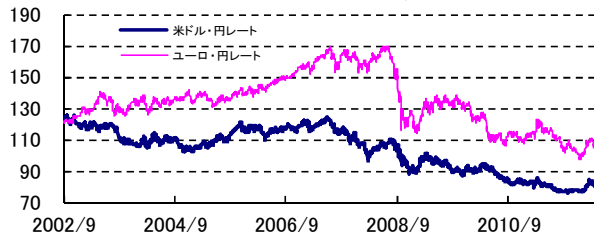


日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



* 上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村証券株式会社によって計算、公表されている、野村証券株式会社の知的財産です。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。シティグループ世界国債インデックスとは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券指数で、世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し、指数化したものです。

【日本株式市場】

4月の日経平均株価は、日本経済の先行きへの楽観的な見方が後退したことなどから、前半は大きく下落しました。その後も欧州債務問題への不安が広がったことによる投資家のリスク回避姿勢が強まったことを背景に下落基調が続き、前月末より563円安の9,520円で取引を終了しました。

【日本債券市場】

新発10年国債利回りは、序盤こそ上昇する局面も見られましたが、依然として欧州債務問題への不安が拭えていないことや市場が日銀による更なる金融緩和を期待していたことなどから、低下基調が続き、前月末比低下の0.8%台後半で月末をむかえました。

【外国株式市場】

NYダウは、雇用統計の結果などを受け軟調に推移しましたが、好調な企業業績に支えられ月末にかけて持ち直す動きがあり、前月末とほぼ同じ13,213ドルで取引を終了しました。独株式市場は、スペインを含む欧州各国の債務問題の再燃があり、前月末を下回り取引を終了しました。

【外国債券市場】

米10年国債利回りは、欧州債務問題だけではなく世界景気にも先行き不透明感が高まったことで月を通じて低下基調が続き、前月末を下回り月末をむかえました。独10年国債利回りは、欧州内での資金逃避先として選好される動きが強まり、前月末を下回り月末をむかえました。

【外国為替市場】

米ドルは、米国経済の先行きに対する楽観的な見方が後退したことなどから、円高基調が続き、前月末比円高の1ドル=81円台前半で月末をむかえました。ユーロは、欧州債務問題への不安感などから売られる動きが続き、前月末比円高の1ユーロ=107円台前半で月末をむかえました。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
 ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
 ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
 したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定(ファンド)グループ

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計 (百万円)
	株式		債券				投資信託	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
日本株式グロース ファンド FIE	●				フィデリティ・日本成長株・ ファンドVA5*	フィデリティ投信株式会社	96.1%	3.9%	14,829
日本株式インデックス ファンド UF	●				三菱UFJ TOPIX・ファンドVA1	三菱UFJ投信株式会社	96.2%	3.8%	3,992
世界株式グロース ファンド AC	●	●			アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ グロース・オポチュニティーズ-2*	アライアンス・ バーンスタイン株式会社	97.2%	2.8%	1,022
外国債券ファンド PJ				●	ピムコ・海外債券ファンド*	ピムコ ジャパン リミテッド	98.3%	1.7%	2,761
世界バランスファンド GSB	●	●	●	●	ダ・ヴィンチ VA2	ゴールドマン・サックス・アセット・ マネジメント株式会社	98.3%	1.7%	5,737
マネーファンド MB			●		三菱UFJ MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	三菱UFJ投信株式会社	95.0%	5.0%	2,005

* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
フィデリティ・日本成長株・ ファンドVA5*	成長企業の株式に投資することにより、TOPIX(東証株価指数)を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行います。
三菱UFJ TOPIX・ファンドVA1	東京証券取引所第一部に上場されている株式を主要投資対象として、TOPIX(東証株価指数)に連動する投資成果の獲得を目指します。
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ グロース・オポチュニティーズ-2*	主に日本を含む先進各国の上場株式に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIワールド指数を上回る投資成果の獲得を目指します。成長性が高いと判断される「産業セクター」を選定し、当該「産業セクター」の中から成長性が高いと思われる銘柄に投資します。
ピムコ・海外債券ファンド*	主に世界各国の公社債に投資し、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)90%および1ヶ月円LIBOR10%の合成ベンチマークを中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。
ダ・ヴィンチ VA2	日本を含む世界各国の株式、債券、円短期金融商品に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。為替は100円ヘッジを基本とすることで、円高・円安による為替変動の影響を低減します。
三菱UFJ MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの(為替リスクの生じないもの)に限ります。

* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

日本株式グロースファンド FIE



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-4.93%	6.94%	3.66%	-8.55%	0.33%	-29.34%

日本株式インデックスファンド UF



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-5.82%	6.74%	5.08%	-5.57%	-5.28%	-25.95%

世界株式グロースファンド AC



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-1.65%	13.01%	8.95%	-7.50%	12.59%	-24.57%

外国債券ファンド PJ



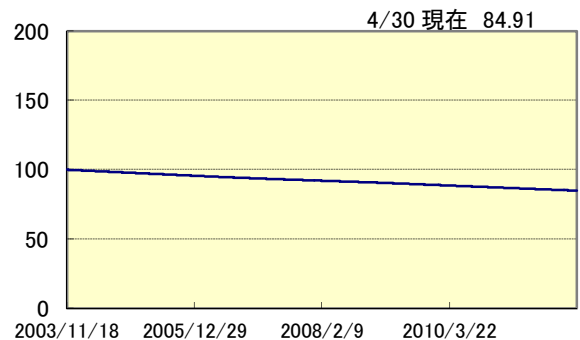
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-0.80%	6.51%	7.96%	2.58%	6.13%	10.01%

世界バランスファンド GSB



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.26%	3.48%	4.23%	-0.19%	14.34%	-8.03%

マネーファンド MB



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-0.16%	-0.48%	-0.99%	-2.00%	-5.83%	-15.09%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式グロースファンド FIE

【特別勘定が投資する投資信託】

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA5(適格機関投資家専用)

【運用会社】

フィデリティ投資株式会社

主要投資対象

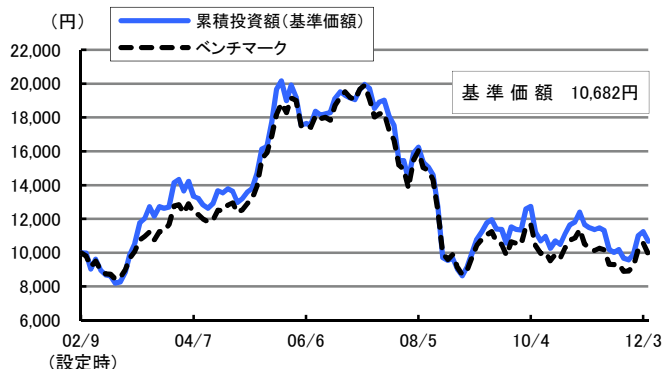
日本の上場株式。主にフィデリティ・日本成長株・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

成長企業の株式に投資することにより、TOPIX(東証株価指数)を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行い、信託財産の成長を目指します。

設定来の運用実績

(2012年4月27日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

コメント

(2012年4月27日現在)

4月の東京株式市場は、上旬に調整した後、月末まで狭いレンジでもみ合う展開が続きました。月初めに公表された米連邦公開市場委員会(FOMC)の議事要旨を受けて追加の金融緩和観測が後退したことなどから日本株は急落、スペイン国債入札の不調をきっかけに欧州債務問題が改めて意識されたほか、3月の米非農業部門雇用者数が市場の予想ほど伸びなかったことも嫌気され、円高修正の動きが一服する中、下落基調を辿りました。中旬に入ると、日銀が月末の金融政策決定会合で追加の金融緩和に踏み切るとの観測や、日本企業の新年度業績に対する期待などが相場を下支えたものの、中国景気の減速懸念やスペイン国債入札に対する警戒感などが重しとなり、もみ合いとなりました。相場の膠着感が強まる中、月末最終日には日銀が追加金融緩和策を発表、場中に株価が急騰する場面もありましたが一時的なものにとどまりました。月間の騰落率は、TOPIX(配当金込)が▲5.86%、日経平均株価は▲5.58%となりました。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

資産別組入状況

株式	95.7%
新株予約権証券(ワント)	-
投資信託・投資証券	0.2%
現金・その他※	4.1%

※「フィデリティ・円キャッシュ・ファンド

(適格機関投資家専用)」(3.1%)を含みます。

未払金等の発生により、「現金・その他」の数値が「フィデリティ・円キャッシュ・ファンド(適格機関投資家専用)」の数値を下回ることがあります。

市場別組入状況

東証1部	88.0%
東証2部	0.0%
ジャスダック	0.9%
その他市場	7.0%

組入上位5業種

電気機器	15.1%
輸送用機器	11.6%
卸売業	7.5%
銀行業	6.7%
機械	6.2%

(対純資産総額比率)

*各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

累積リターン

(2012年4月27日現在)

ファンド	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-4.96%	7.77%	4.90%	-6.90%	6.92%	6.82%
ベンチマーク	-5.86%	7.66%	6.54%	-3.36%	1.97%	-0.53%

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

※ベンチマーク: TOPIX(配当金込)

過去5期分の収益分配金(1万口当たり/税込)

第6期(2007.11.30)	0円
第7期(2008.12.01)	0円
第8期(2009.11.30)	0円
第9期(2010.11.30)	0円
第10期(2011.11.30)	0円

純資産総額

142.6 億円

(2012年4月27日現在)

組入上位10銘柄

(マザーファンド・ベース)

(2012年3月30日現在)

	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.6%
2	本田技研工業	輸送用機器	3.5%
3	ミスミグループ本社	卸売業	3.3%
4	オリックス	その他金融業	2.9%
5	任天堂	その他製品	2.2%
6	マキタ	機械	2.1%
7	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.1%
8	日立金属	鉄鋼	1.9%
9	シノ	輸送用機器	1.9%
10	大和工業	鉄鋼	1.9%

(組入銘柄数: 200)

上位10銘柄合計 25.5%

※「フィデリティ・円キャッシュ・ファンド(適格機関投資家専用)」は、(対純資産総額比率)組入上位10銘柄の対象から除いています。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式インデックスファンド U F

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ TOPIX・ファンドVA1

【運用会社】
三菱UFJ投信株式会社

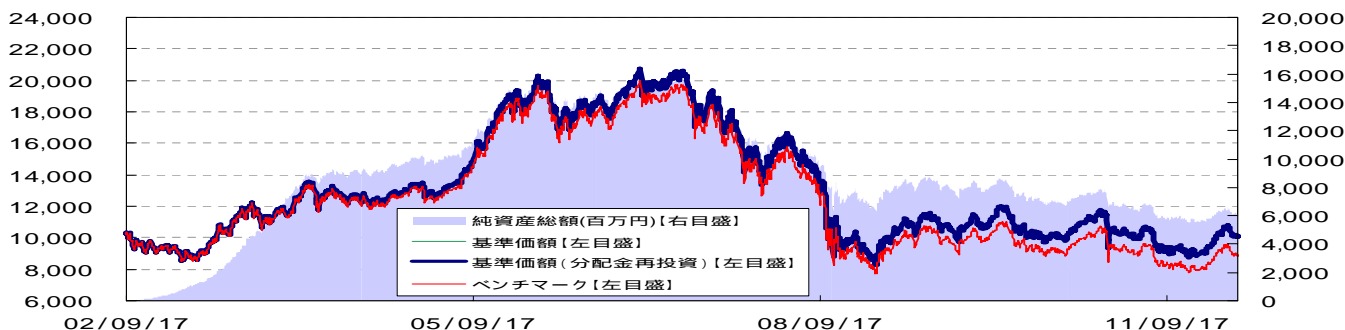
主要投資対象

東京証券取引所第一部上場株式。主にTOPIXマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

東京証券取引所第一部に上場されている株式を主要投資対象として、TOPIX(東証株価指数)に連動する投資成果の獲得を目指します。

設定来の運用実績



・基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日前営業日を10,000として指数化しています。
・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.441%(税抜0.42%))控除後の値です。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)です。

ファンド現況

	2012/4/27	前月末	前月末比
基準価額	10,048円	10,678円	-630円
純資産総額(百万円)	6,078	6,478	-399

	基準価額	日付
設定来高値	20,775円	2007/2/26
設定来安値	8,236円	2009/3/12

分配金実績(税引前)

	直前期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2012/3/26	2011/3/25	2010/3/25	2009/3/25	2008/3/25	2007/3/26	
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

運用資産構成

	2012/4/27	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	100.00%	99.50%	0.50%
内 現物	97.20%	97.49%	-0.29%
内 先物	2.80%	2.01%	0.79%

・比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-5.90%	7.55%	6.38%	-3.74%	0.98%	0.48%
ベンチマーク	-5.86%	6.49%	5.26%	-5.59%	-4.00%	-11.46%
差	-0.04%	1.06%	1.12%	1.85%	4.99%	11.94%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。
また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	電気機器	13.56%	13.57%
2	輸送用機器	10.71%	10.71%
3	銀行業	9.51%	9.50%
4	情報・通信業	6.27%	6.27%
5	化学	5.95%	5.95%
6	卸売業	5.59%	5.59%
7	機械	5.18%	5.17%
8	医薬品	4.78%	4.78%
9	小売業	4.32%	4.32%
10	陸運業	3.90%	3.90%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

組入上位15銘柄

(組入銘柄数: 1668 銘柄)

	銘柄	業種	ファンド	ベンチマーク
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.79%	3.90%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.56%	2.63%
3	ホンダ	輸送用機器	2.16%	2.23%
4	キヤノン	電気機器	2.02%	2.08%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.71%	1.76%
6	日本電信電話	情報・通信業	1.46%	1.50%
7	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.43%	1.47%
8	ファナック	電気機器	1.25%	1.29%
9	武田薬品工業	医薬品	1.21%	1.25%
10	三菱商事	卸売業	1.11%	1.14%
11	日立製作所	電気機器	1.04%	1.07%
12	コマツ	機械	1.00%	1.03%
13	NTTドコモ	情報・通信業	0.98%	1.01%
14	JT	食料品	0.98%	1.00%
15	ソフトバンク	情報・通信業	0.95%	0.98%

・比率は純資産総額に対する割合です。

東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の動向を表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界株式グロースファンド AC

【特別勘定が投資する投資信託】
適格機関投資家私募
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ-2
【運用会社】
アライアンス・バーンスタイン株式会社

主要投資対象

主に先進各国の証券取引所上場株式。主にアライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

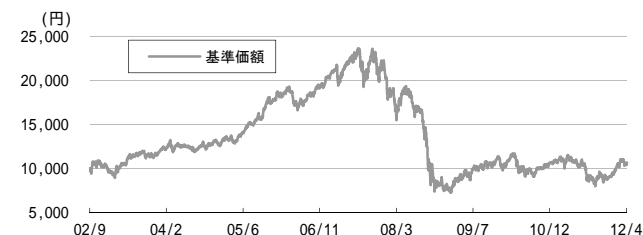
運用方針

主に日本を含む先進各国の上場株式に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIワールド・インデックス(円ベース)を上回る投資成果の獲得を目指します。成長性が高いと判断されるセクターの中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資します。

基準価額の推移と運用実績

基準価額の推移

(1万口当たり)



基準価額／純資産総額

	基準価額	10,641円	純資産総額	10億01百万円		
《基準価額騰落率》						
	1か月間	3か月間	6か月間	1年間	3年間	当初設定来*
ファンド	-1.6%	13.9%	10.4%	-5.8%	20.5%	6.4%
ベンチマーク	-1.9%	11.7%	8.9%	-4.5%	29.2%	37.3%
円/ドルレート	-1.2%	6.3%	4.4%	-1.1%	-17.0%	-33.8%

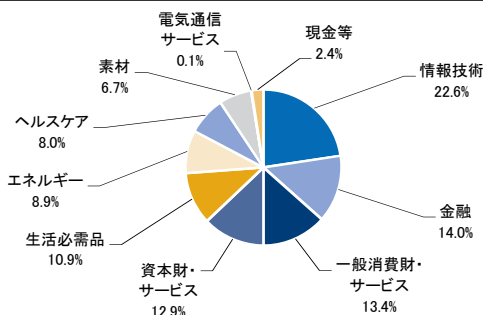
*当初設定日：2002年9月30日

※ベンチマークはMSCIワールド・インデックス(円ベース)です。
※基準価額およびその騰落率は、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。また、データは過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

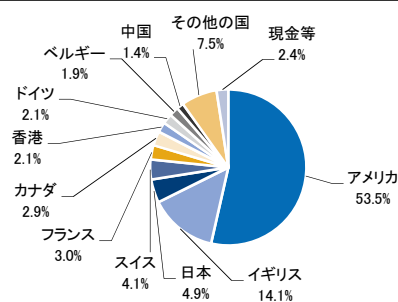
マザーファンドのポートフォリオの状況

※組入比率は、全て対純資産総額の比率です。

セクター別配分



国別組入比率



資産配分

株式等	97.6%
(内訳) 国内株式	4.9%
外国株式	92.7%
現金その他	2.4%

組入上位10銘柄

(銘柄数：116 銘柄)

順位	銘柄名	セクター	国	比率
1	アップル	情報技術	アメリカ	3.7%
2	ブリティッシュ・アメリカン・タバコ	生活必需品	イギリス	2.8%
3	ネスレ	生活必需品	スイス	1.9%
4	アンハイザー・ブッシュ・インベブ	生活必需品	ベルギー	1.9%
5	JPモルガン・チェース	金融	アメリカ	1.8%
6	ダナハー	資本財・サービス	アメリカ	1.8%
7	クアルコム	情報技術	アメリカ	1.8%
8	グーグル	情報技術	アメリカ	1.7%
9	IBM	情報技術	アメリカ	1.6%
10	ウォルト・ディズニー	一般消費財・サービス	アメリカ	1.5%
(組入上位10銘柄計)				20.7%

※小数点第2位以下を四捨五入しています。

※セクター別配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard(GICS)の分類で区分しています。

※国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

※組入上位10銘柄は、当ファンドの運用内容の説明のためのものであり、アライアンス・バーンスタイン株式会社が推奨または取得のお申込みの勧誘を行うものではありません。

市況

4月の世界の株式市場は、欧州債務問題や中国情勢を警戒し昨年末からのリスク選好の流れが一服、各国の金融政策を睨んだ模様眺めの展開となりました。米国株式市場は、欧州債務危機の再燃による米国内の企業業績の下押し懸念や、米連邦公開市場委員会(FOMC)による声明を受けて同国の金融緩和観測が後退したことなどを背景に、概ね下落基調で推移しました。月末にかけては、個人消費の伸びを受け関連する企業が相次いで業績好調を発表したことなどから、やや値を戻しました。当月発表された米経済指標では、雇用統計で雇用者数の伸びが予想を大幅に下回り、米雇用市場の回復ペース失速の可能性を示唆しました。一方で、3月の小売売上高は前月から鈍化するも予想を上回る伸びとなり、住宅販売保留指数はおよそ2年ぶりの高水準となりました。欧州株式市場は、財政不安を抱えるスペインの国債入札が冴えない結果となり、欧州中央銀行(ECB)による流動性供給の効果が薄れつつある可能性が示されたことを背景に、軟調な展開となりました。月末は、ドイツの企業景況感指数が前月に続き改善したことなどから、やや値を戻しました。日本株式市場は、月末に日銀の追加金融緩和策の発表を控えたところに欧州の動向や円高などの不安要素が加わり、調整含みの展開となりました。

主要市場の騰落率(前月末比、現地通貨建て)は次の通りです。ダウ平均(米):0.4%、S&P500(米):-0.2%、ナスダック総合指数(米):-1.4%、FT100(英):0.1%、DAX(独):-2.0%、CAC40(仏):-4.5%、日経平均:-5.6%、TOPIX:-5.9%。円ドル・レートは円高ドル安となり、4月27日の基準価額の算定に使用するレートは1ドル=81円19銭(3月30日:82円19銭)となりました。

※上記は作成基準日のコメントであり、今後予告なしに変更することがあります。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
外国債券ファンドPJ

【特別勘定が投資する投資信託】
ピムコ・海外債券ファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】
ピムコジャパンリミテッド

主要投資対象

日本を除く世界各国の各種公社債。

運用方針

主に世界各国の公社債に投資し、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)90%および1ヶ月円LIBOR10%の合成ベンチマークを中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

[追加型証券投資信託/ファンドオブファンズ]
[基準価額] 13,519 円

[設定日] 2002年9月24日
[決算日] 毎年9月25日

1. パフォーマンス

設定以来の基準価額の推移



騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	2年*	設定来*
ファンド**	-0.65%	7.15%	9.21%	4.81%	0.69%	3.19%
ベンチマーク**	-1.14%	6.26%	6.39%	1.09%	-1.89%	2.14%
超過収益	0.49%	0.89%	2.82%	3.72%	2.58%	1.05%

*信託報酬控除後、1年を超える期間は年率換算してあります。

**シティグループ世界国債インデックス(除く日本、為替ヘッジなし)90%、1ヶ月日本円Libor10%を合成したものです。

分配実績

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	累計
日付	9/25/03	9/27/04	9/26/05	9/25/06	9/25/07	9/25/08	9/25/09	9/27/10	9/26/11	-
金額	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円

PIMCO

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

外国債券ファンドPJ

【特別勘定が投資する投資信託】

ビムコ・海外債券ファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】

ビムコ ジャパン リミテッド

主要投資対象

日本を除く世界各国の各種公社債。

運用方針

主に世界各国の公社債に投資し、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)90%および1ヶ月円LIBOR10%の合成ベンチマークを中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

2. ファンド特性

(数値はすべて、当ファンドが組入れている2本のファンドを合算して算出しております。)

【ファンドの一般的特性】

平均クーポン	3.38%
平均直接利回り	3.13%
平均最終利回り	3.01%
平均デュレーション(年)	4.50
平均償還期間(年)	6.52
平均格付け*	AA
債券組入比率	99.08%

*平均格付けとは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

【格付構成比】

格付	組入比率
AAA	71.60%
AA	9.00%
A	16.40%
BBB	2.70%
BB以下	0.00%
A1/P1	0.30%
A2/P2	0.00%
合計	100.00%

【国別配分】

国名	組入比率
アメリカ	33.32%
ユーロ圏	48.51%
イギリス	8.62%
カナダ	-0.40%
メキシコ	4.61%
オーストラリア	0.80%
日本	0.13%
その他	4.41%
合計	100.00%

【種別配分】

セクター名	組入比率
国債、エージェンシー債	46.53%
モーゲージ債、アセットバック債	19.54%
社債	33.01%
キャッシュ等*	0.92%
合計	100.00%

*「キャッシュ等」にはCP等も含まれます。

3. 運用担当者のコメント

《市場コメント》

米国債券相場は、月初に公表された3月FOMC(連邦公開市場委員会)の議事録や米雇用統計において非農業部門雇用者数の伸びが市場予想を大きく下回ったこと、住宅関連の経済指標が弱めの内容だったことを受け、月を通じて堅調な展開となりました。(2年債利回りは前月比0.07%低下、10年債利回りは前月比0.30%低下しました。)ユーロ圏債券相場は、月前半、スペインにおける財政再建に対する懸念が高まったことを受けて、投資家がリスク回避姿勢を強める中、相対的に安全資産とみられたドイツ国債は堅調な推移となりました。その後、過去最低水準の利回りが嫌気されたことでドイツ10年国債入札が振るわない結果となったことから、ドイツ国債が下落する局面も見られました。しかし、ユーロ圏の景気減速を示す経済指標が発表されたことなどから、月末にかけてドイツ国債は再び堅調な推移となり、月を通じても上昇する結果となりました。(2年債利回りは前月比0.13%低下、10年債利回りは前月比0.13%低下しました。)英国債券相場は、月初、欧州債務問題の先行き不透明感がくすぶる中、他の主要先進国の債券相場が堅調な推移となった流れを受けて、上昇基調となりました。(2年債利回りは前月比0.03%上昇、10年債利回りは前月比0.09%低下しました。)日本債券相場は、海外市場で債券高の流れとなった中で、概ね堅調に推移しました。また月末には日銀が資産買い入れ基金の5兆円増額や、買い入れ対象国債の年限を3年に延長する追加金融緩和を決定したことも、日本債券市場へのサポート要因となりました(2年債利回りは前月比ほぼ横ばいで推移、10年債利回りは前月比0.09%低下しました。)

《パフォーマンス》

先月のパフォーマンスはマイナス0.65%となり、ベンチマークを0.49%上回りました。国別選択で欧州周辺国の保有を少なめとしたことはプラスとなった一方、米国で金利リスクを少なめとした戦略はマイナスとなりました。

《今月の運用方針》

世界経済は、景気回復の速度が各国で異なるグローバル経済の「多速度化」が進むと考えております。米国では、足元で消費者向け融資が復活しつつあるなど経済指標に改善傾向が見られ、長期にわたり低迷していた住宅部門に回復の兆しが見られ始めていることは景気のプラス材料といえます。ただし、財政面での制約が強まる中、景気刺激への切り札が少なくなっていることは景気への重石と考えられ、本格的な景気回復には時間がかかるものと予想しております。今後の投資戦略としては、先進国の金利が歴史的な低水準にあり低下余地が限られる中、ポートフォリオ全体の金利リスクを中立から少なめで調節します。債券セクター別には、社債については過度なリスクを取らないよう高格付けセクターへの投資を継続し、選択的な保有を継続する方針です。また、モーゲージ債についても、ファンダメンタルズ対比でみて投資妙味のある銘柄を厳選して保有してまいります。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド GSB

【特別勘定が投資する投資信託】

ダ・ヴィンチ VA2

【運用会社】

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

主要投資対象

日本を含む世界各国の株式・債券および円短期金融商品。主にダ・ヴィンチ マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

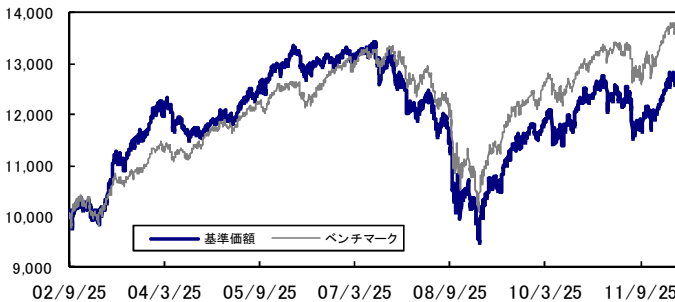
日本を含む世界各国の株式、債券、円短期金融商品に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。為替は100%円ヘッジを基本とすることで、円高・円安による為替変動の影響を低減します。

基準日： 2012年4月27日

運用の特徴

1. 主としてマザーファンドへの投資を通じて、日本を含む先進国を中心とした世界の株式、債券と円短期金融商品に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。
2. 本ファンドのベンチマークは、MSCIワールド・インデックス40%+JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス(グローバル)40%(ともに為替円ヘッジ、円ベース)+円1ヶ月LIBOR20%を使用しております。
3. 為替は100%円ヘッジを基本としています。
4. 資産配分比率、株式・債券・通貨の国別配分比率の変更を行い、収益の向上を目指します。
5. コンピューター・モデルを用いた計量運用を行います。
6. 本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。

設定来の実績 (2002年9月25日)



(注)本ファンドの信託報酬率は0.945%(税込)であり、上記のグラフは基準価額(信託報酬控除後、課税前分配金再投資)およびベンチマークを、設定日を10000として指数化した実績です。

騰落率

	実績	ベンチマーク
過去1ヶ月	0.42%	-0.33%
過去2ヶ月	0.90%	0.22%
過去3ヶ月	4.07%	2.28%
過去6ヶ月	5.40%	4.58%
過去1年	1.95%	2.24%
過去2年	6.33%	8.07%
過去3年	22.13%	23.13%
設定来	27.97%	37.26%

(注)分配金再投資の基準価額の騰落率です。
下記※もご覧ください。

基準価額および純資産総額

基準価額	12,797円
設定来分配金	0円
純資産総額	56.4億円

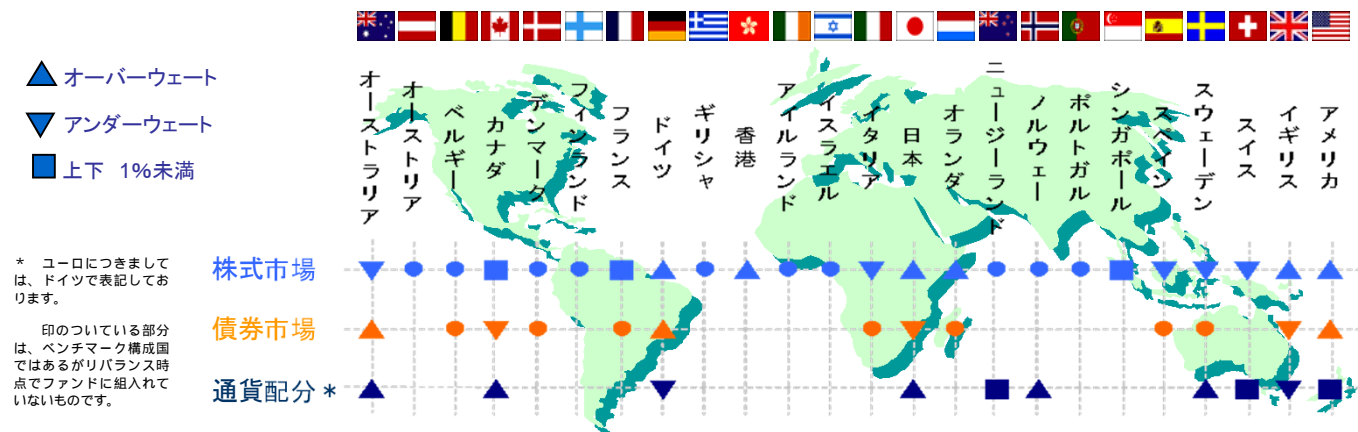
(注)基準価額は分配落ち後のものです。

※上記の基準価額、分配金再投資後基準価額およびファンドの期間別騰落率は信託報酬控除後のものです。分配金再投資後基準価額は税金控除前の価額です。ファンド(分配金再投資)の騰落率とは、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の収益率です。本ファンドの騰落率をベンチマークと比較して評価することは、特に1年未満程度の短期間については資産の評価時点や評価為替レート等の差異の影響が相対的に大きく、必ずしも適切でない場合がありますのでご注意ください。また、ベンチマークには直接投資することはできず、費用や流動性等の市場要因なども考慮されておられません。

資産構成

	基本アセットミックス	ファンド
世界株式	40.0%	44.3%
世界債券	40.0%	55.7%
円短期金融商品	20.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%

ポジション(リバランス時)



* ユーロにつきましては、ドイツで表記しております。

印のついてる部分は、ベンチマーク構成国ではあるがリバランス時点でファンドに組み入れていないものです。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド GSB

【特別勘定が投資する投資信託】

ダ・ヴィンチ VA2

【運用会社】

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

主要投資対象

日本を含む世界各国の株式・債券および円短期金融商品。主にダ・ヴィンチ マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

日本を含む世界各国の株式、債券、円短期金融商品に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。為替は100円ヘッジを基本とすることで、円高・円安による為替変動の影響を低減します。

基準日： 2012年4月27日

2012年4月の市場動向

◎4月の世界株式は1.5%程度下落(MSCI世界株式指数;配当込;現地通貨ベース)となりました。4月の世界株式市場は下落傾向となりました。国別に見ると、アメリカでは約0.6%の下落、ドイツでは約2.2%の下落、フランスでは約5.3%の下落、イギリスでは約0.3%の下落となりました。日本国内の株式は約6.1%の下落となりました。

◎4月の世界債券は0.7%程度の上昇(JPモルガン世界国債指数;現地通貨ベース)となりました。4月の世界債券市場は上昇傾向となりました。国別に見ると、アメリカでは約1.5%の上昇、ドイツでは約1.1%の上昇、イギリスでは約0.4%の上昇となりました。日本国内の債券は約0.6%の上昇となりました。

投資対象の評価 (リバランス時)

〈資産クラス間配分〉*

資産クラス間配分では、世界株式はバリューとモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。世界債券はモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。大型株／小型株の配分に関しては、小型株に対して強気の見通しとしている。小型株はセンチメントの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一般優良株／テクノロジー株の配分に関しては、テクノロジー株に対して強気の見通しとしている。テクノロジー株はバリューの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。

〈株式国別配分〉

株式国別配分においては、ドイツやイギリスに対して強気の見通しとする一方で、オーストラリアやスウェーデンに対して弱気の見通しとしている。ドイツに対しては、モメンタムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。イギリスに対しては、リスクの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、オーストラリアに対しては、バリュー、モメンタムおよびリスクの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。スウェーデンに対しては、バリューとリスクの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

〈債券国別配分〉

債券国別配分においては、アメリカやユーロ圏に対して強気の見通しとする一方で、日本やイギリスに対して弱気の見通しとしている。アメリカやユーロ圏に対しては、モメンタムとマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、日本に対しては、モメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。イギリスに対しては、マクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

〈通貨配分〉

通貨配分においては、スウェーデンやノルウェーに対して強気の見通しとする一方で、日本やイギリスに対して弱気の見通しとしている。スウェーデンに対しては、バリューの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。ノルウェーに対しては、バリューとマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、日本に対しては、バリューの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。イギリスに対しては、マクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

※ 円短期金融商品…一般的に割引国債、コールローン等を指します。また、非円建ての短期金融商品に投資しこれを円ヘッジする場合があります。本資料中の資産構成、投資対象の評価等は、過去の一時点におけるものであり、以後変更される場合があります。

* 株式／債券／円短期金融商品間の資産配分、大型株／小型株間の配分および一般優良株／テクノロジー株間の配分を含みます。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
マネーファンド MB

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ MRF(マネー・リザーブ・ファンド)

【運用会社】
三菱UFJ投信株式会社

主要投資対象

国内外の公社債、CP等の短期金融商品。

運用方針

内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの(為替リスクの生じないもの)に限ります。

【資産構成】

2012年04月27日 現在

項目	評価金額(円)	組入比率(%)
公社債	186,972,016,121	63.31
(うち固定債)	(186,972,016,121)	63.31
(うち変動利付債)	(0)	0.00
短期金融商品	108,346,001,076	36.69
(うちコールローン他)	(78,348,101,076)	26.53
(うちCD)	(0)	0.00
(うちCP)	(0)	0.00
(うち現先)	(29,997,900,000)	10.16
純資産総額	295,318,017,197	100.00

【基準価額】

基準価額	10,000円
------	---------

(注1) 固定債：変動利付債以外の債券

(注2) 比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。

【債券平均利率・平均残存年数】

平均利率	0.000%	平均残存年数	0.150年
------	--------	--------	--------

(注) 平均利率、平均残存年数の計算方法について

- 平均利率(%)：各債券のクーポンを債券の額面で加重平均したもの
- 平均残存年数(年)：各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したもの
変動利付債の残存年数は、次回払日までとして計算しています。

【国内(邦貨建)公社債(新株予約権付社債(転換社債)を除く)明細表】

	額面金額(円)	評価金額(円)	残存期間別組入比率				
			1年未満	1年以上	2年以上	5年以上	合計
国債	187,000,000,000	186,972,016,121	63.31%	0.00%	0.00%	0.00%	63.31%
地方債	0	0	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
特殊債	0	0	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
金融債	0	0	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
普通社債	0	0	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
合計	187,000,000,000	186,972,016,121	63.31%	0.00%	0.00%	0.00%	63.31%

(注1) 組入比率は純資産ベース

(注2) 特殊債とは公社、公団、公庫等の政府関係機関等、いわゆる特殊法人や特殊団体が特別の法律に基づいて発行する債券の総称です。

【債券の格付分布】

格付種類	比率
AAA格	0.00%
AA格	63.31%
A格	0.00%
BBB格	0.00%
BB格以下	0.00%
無格付	0.00%
合計	63.31%

【短期金融商品(CP・CD)の格付分布】

格付種類	比率
A-1格	0.00%
A-2格	0.00%
A-3格	0.00%
合計	0.00%

比率は純資産総額に対する割合です。

債券の格付の振分基準は以下の通りです。

- AA格(AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
- A格(A+, A, A-, A1, A2, A3)
- BBB格(BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
- BB格(BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)

CD・CPの格付の振分基準は以下の通りです。

- A-1格(a-1, a-1+, J-1, J-1+, A-1, A-1+, P-1)
- A-2格(a-2, J-2, A-2, P-2)
- A-3格(a-3, J-3, A-3, P-3)

原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付(国の発行体格付)を採用しているものがあります。また日本の金融債については発行体格付を採用しています。

格付分布は、R&I社、JCR社、S&P社、Moody社のうち最も低い格付を表示しています。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。